

## 中国の原子力関係情報

——中国核能行業協会【中国原子力産業協会、CNEA】ホームページより抜粋——  
(中文仮訳概要)

2009/3/24 浙江省海塩県の“原子力発電バレー”

国務院が昨年 4 万億元の経済刺激策を打ち出したことにより、国内の原子力発電投資市場は活況を呈している。中国原子力発電発祥の地である浙江省海塩県秦山鎮では、秦山 I 期拡張工事—方家山プロジェクトの国産化率 80%によってより多くの利益がもたらされた。  
(情報源：嘉興日報)

2009/3/23 新エネルギーを重視しなければ、10 年経っても日本に追いつけない

張国宝 国家エネルギー局長：当面する金融危機によりエネルギー需給の矛盾が緩和されるとしても、新エネルギー開発を軽視することはできない。長期的にみれば、わが国のエネルギー構造を改善し、再生可能エネルギー、新エネルギーを積極的に開発しなければならない。一次エネルギー消費に占めるクリーンエネルギー比率を高めなければならない。中国では原子力発電開発のスピードをあげている。建設中の原子力発電所は 22 基、建設承認を得たものが 11 基ある。今年 3 月末には、世界初の第 3 世代原子炉が浙江三門で着工する。  
(情報源：人民ネット—マーケットレポート)

2009/3/19 張華祝 理事長：原子力産業の持続的で健全な発展を推進しよう

原子力発電建設を積極的に推進するには、業界において、とくに次の 5 つの課題を重視しなければならない：

- ① 自主刷新能力の向上
- ② 国産化の推進
- ③ 核燃料開発利用の保障
- ④ 人材育成
- ⑤ 原子力安全文化の醸成

(情報源：国防科技工業)

2009/3/18 世界初の AP1000 原子力発電所まもなく着工

世界初の AP1000 原子力発電所—浙江三門 1 期工事、3 月末正式着工へ。  
(情報源：中国工業報)

(以上)